

スペインADDA 交響楽団

ADDA-SINFÓNICA ALICANTE



指揮：ジョセップ・ヴィセント
cond.: Josep Vicent



ギター：村治佳織
guitar: Kaori Muraji

スペインから熱気にみちた若いオーケストラが初来日！
人気ソリストが才気あふれる注目の指揮者と名曲を共演！

2025年11月3日(月・祝)

19:15開演 (18:40開場/21:00終演予定)

Monday 3, November 2025 at 19:15 MUZA Kawasaki Symphony Hall

ミュゼ川崎シンフォニーホール

(JR川崎駅中央西口より直結徒歩3分、京急川崎駅より徒歩8分)

全席指定 (全席指定・税込) S席 15,000円 | A席 11,000円 | B席 6,000円

お問い合わせ・電話予約お申込み・お問合せ

神奈川芸術協会 045-453-5080 kanagawa-geikyō.com

■ ミュゼ川崎シンフォニーホール 044-520-0200 muza.pia.jp

■ チケットぴあ t.pia.jp <Pコード 293-809>

■ イープラス eplus.jp

■ ローソンチケット l-tike.com <Lコード36437>

4月19日(土)
より発売



■ 主催：日本アーティスト
■ 後援：スペイン大使館

Program ラヴェル生誕150周年記念

ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ
Ravel : Pavane pour une infante défunte

ロドリゴ：アランフェス協奏曲 ギター：村治佳織
Rodrigo : Concerto de Aranjuez

ビゼー：カルメン組曲
Bizet : "Carmen Suite" for orchestra

ラヴェル：ボレロ
Ravel : Bolero

※未就学児童は入場できません。
※出演者、曲目、曲順は変更になる場合がございます。予めご了承下さい。
※公演中止の場合を除き、ご購入いただいたチケットの払戻しはできません。
※営利を目的としたチケットの転売行為は固くお断りいたします。
転売により生じたトラブル等に対し、主催者は一切の責任を負いません。

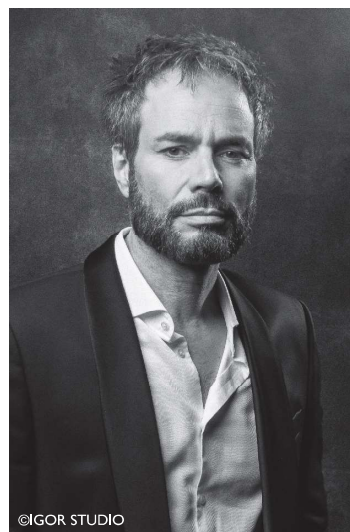
スペインADDA交響楽団

ADDA-SIMFÓNICA ALICANTE

ADDA交響楽団は、バレンシアコミュニティ財団のもと、地中海に面したアリカンテ市のコンサートホール、ADDAオーデトリウム“Auditorio de la Diputacion de Alicante”を本拠地としている。ADDA交響楽団はスペインの音楽界において重要な楽団であり、ソフィア王妃芸術センターをはじめ、マドリッド・ナショナル・オーデトリウム、カタルーニャ音楽堂、カンタブリア祝祭劇場、さらにバレアレス諸島音楽祭、マドリッド・コミュニタード等、スペイン全国の主要な会場で演奏している。現代音楽の解釈においても先導、画期的に着手し、15枚以上のアルバムの他、数枚のビジュアル作品を、ワーナー・クラシックスなどからリリースしている。首席指揮者ジョセップ・ヴィセントが率いる重要なプロジェクトではオペラ、舞台作品があり、エミリオ・サギまたはカルルス・パドリッサと共同でオペラ、舞台公演がある。（「恋は魔術師」「カルメン」「ラ・ボエム」「天地創造」「カルミナ・ブラーナ」「惑星のための牧歌」）「チック・コリア・シンフォニー・トリビュート」ストラヴィンスキーの全バレエ作品など視聴覚作品の制作、作曲家ニコラ・カンボグランテ、オスカー・ナヴァロ、ジェシー・パッセニエ、マイケル・ナイマン、ヴィセント・エゲア、シノ・カノ、デビット・モラ、パー・エグランド、ヘスス・ムラ等の世界初演がある。この継続的な芸術キャリアを、批評家は「ごく少数のアンサンブルが到達できるエネルギーとサウンドを持った、その熱意を広める世界的レベルの楽器」と称している。
<https://addaalicante.es>>adda-simfonica-alicante/

ジョセップ・ヴィセント 指揮者 Josep Vicent / conductor

エキサイティングでユニークな経歴をもつスペインの音楽家ジョセップ・ヴィセントは世界の一流オーケストラを指揮、著名なソリスト達との共演などで、国際音楽祭をはじめ、世界各国の主要なホールへの出演を重ねている。2015/16年のシーズンよりADDAの芸術・音楽監督、ADDA交響楽団の首席指揮者を務める。2014年より、定評のあるオペラ・演劇グループ“La Fura del Baus ラ・フラ・デル・バウス”の音楽監督、指揮も務めている。彼は現代音楽の幅広いバックグラウンドを持ち、100以上の新作を初演し高い評価を得ている。クセナキス・フェスティバル、フェスティバル・ニッツ・デ・ラ・メディテラニア、さらに国際的に高く評価されている阿姆斯特ダム・パーカッション・グループの芸術監督も務めている。巨匠アルベルト・ゼッダのアシスタントを務め、2013年に国際青少年音楽コンクール賞、同年「シティ・オブ・バレンシア」芸術賞、アリカンテ市から「オスカー・エスブラ」賞を受賞。彼は、フェデリコ市長サラゴサによって平和文化財団のために任命された国際大使でもある。
<https://josepvicent.com>



©IGOR STUDIO

村治佳織 ギター Kaori Muraji / guitar

幼少の頃より数々のコンクールで優勝を果たし、ビクターより15歳でCDデビュー。フランス留学の後、積極的なソロ活動を展開。NHK交響楽団ほか国内主要オーケストラ及び欧州のオーケストラとの共演も多数重ね、2003年英国の名門DECCAと日本人としては初の長期専属契約を結ぶ。第5回出光音楽賞、村松賞、第9回ホテルオークラ音楽賞、ベストドレッサー賞（学術・文化部門）、ブルガリアウローラアワード2019を受賞。2018年リリースの『シネマ』は第33回日本ゴールドディスク大賞を受賞。1995年、2005年、2022年と「東芝グランドコンサート」に出演。2023年、デビュー30周年を記念してベストアルバム『Canon～オールタイム・ベスト』をリリースした。
村治佳織OFFICIAL HP <http://www.officemuraji.com>



©Ariga Terasawa

スペインの地中海に面したアリカンテ市から
若きオーケストラが首席指揮者とともに初来日。
スペイン・バスクにルーツを持つラヴェルの生誕150周年を記念したプロを演奏。
村治佳織とのアランフェス、そして本場のボレロに大きな期待！